

令和2年度

飯山高校看護科 戴帽式



10月8日(木)、看護科2年生「第46回戴帽式」が挙行されました。

「戴帽式」とは、看護師としての責任と使命、自覚について誓いをたて、看護職者としての意識を高めるための、厳粛で重要な式です。今年度は新型コロナウイルス対策のため、規模を縮小しての実施でしたが、看護科2年生全員が心を一つにし、荘厳なキャンドル・サービスの中でナイチンゲール誓詞を朗唱し、看護の道を目指す決意を新たにしました。



↑戴帽式直前のホームルームです。8月から約2か月、戴帽式をしていただけることに感謝し、一生懸命に練習を重ねてきました。

例年であれば、看護科1年生、3年生も参加をしますが、今年は新型コロナウイルス対策により、参加はできませんでした。



しかしながら、先輩からは一人ひとりへのメッセージカードと黒板へのメッセージ、後輩からは一人ひとりへの手作りのしおりを頂きました。同じ志を持つ仲間のあたたかい励ましを受け、あたたかい気持ちで戴帽式に参加することができました。



全員がナースキャップをいただき、心を一つに「ナイチンゲール誓詞」を朗唱しました。



「誓いの言葉」では、戴帽生代表生徒が、戴帽式の開催への感謝、そして、患者様の心に寄り添い、生きる希望を与えることのできる看護師を目指したいという強い決意を伝えました。

